

平成30年度 事業報告

1 事業の概要

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園としてスタートした2年目であり、第3期指定管理期間5年間の最終年度でもあることから、健全な法人運営と安全で快適な施設運営に最善を尽くすとともに、第3期指定管理の集大成となるよう取り組んだ。また、次期指定管理者選定に向けては、ワーキンググループによる提案書作成を最重要事項と位置づけ、10月の審査にかかるヒヤリングに臨んだ結果、12月28日付けで指定管理者の指定について通知を受けた。

平成30年3月に県が策定した「希望が丘文化公園基本計画」については、多くの方に利用いただき、公園の魅力を高めながら、その魅力を発信し広めることにより基本理念である「人と人」「人と自然」の関わりを深め、心の豊かさを育む公園の定着を目指して、本計画各項目の実現や推進に努めた。

具体的には、30年5月にスポーツ会館リニューアル基本計画検討ワーキンググループが設置され、31年3月に基本計画が策定された。一方、文化ゾーンおよび野外活動ゾーンを中心とした公園の活性化等検討懇話会も30年12月に設置され議論が始まった。

公園においては「100年先にも誇れる公園づくり」のビジョンのもと、“WELCOMEスマイル”をスローガンとして、これまでに培ってきた確かな熟知、実績、熱意をもとに、県民に潤いや安らぎを与える豊かな空間を提供するとともに、青少年の健全育成やスポーツの振興などに貢献できるよう夢と誇りを持って邁進してきた。

特に、あらゆる年代の方々が気軽に参加できる四季を通した10大祭りによる賑わいの創出や“きぼっこ”を合い言葉とした子どもの自然体験活動の促進、びわ湖カップと銘打った全国大会の5大イベントを開催する他、県民の体力増進や健康づくりをはじめ、アスリートの競技力向上など、個性豊かで活力ある公園の実現に取り組んだ。

さらに、3回目の開催となった「第26回全国中学校駅伝大会」において、全国から選手や関係者等を温かくお迎えするとともに、公園の魅力である広大なフィールドを最大限活用された各種団体、企業等の主催するマラソン大会やイベントにも支援、協力に万全を期した。

2 経営目標の実績

	目標値	実績(前年度)	達成率
(1) 支出に占める収入割合	29.1%	29.8% (31.4%)	102.7%

当初の目標値を102.7%と達成できた。管理面では、老朽化に伴う施設・設備の安全対策を第一に優先させ維持管理を行い、一方、事業面では効率的な運営と費用対効果に配慮した効果的な執行に努めた。

(2) 来園者数	930,000人	903,290人 (892,052人)	97.1%
----------	----------	---------------------	-------

スポーツゾーンにおいて11月「滋賀県高等学校駅伝大会」や12月「全国中学校駅伝大会」の開催など、スポーツ施設の利用者増に伴って前年度を上回った。5月、7月、9月の天候不良による事業中止や3月下旬の冷え込みによる減少が目立つなど、台風、大雨、猛暑など悪天候の影響を大きく受けて目標値に届かなかった。

来園者数	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数
東ゲート	8,472	172,978	8,700	183,349	9,510	177,838	11,391	170,675
西ゲート	86,466	687,039	81,406	676,854	80,232	686,248	81,324	702,288
南ゲート	1,775	30,343	1,908	30,333	1,981	27,966	2,298	30,327
合計	96,713	890,360	92,014	890,536	91,723	892,052	95,013	903,290

(3) 施設利用者数	250,000人	260,408人 (238,476人)	104.1%
------------	----------	---------------------	--------

青年の城82.8%、野外活動施設49.5%およびスポーツ会館127.2%で、総数では前年度より約22,000人増加して目標値をクリアした。野外活動施設は台風、大雨、猛暑などにより団体のキャンセルが多く、加えて、毎年利用のある学校や団体の利用もなくなり大きく減少した。スポーツ施設が夜間利用の増により体育室、投てき競技等の練習場所として草野球場、また各種大会の開催により格技場、会議室などの利用が大きく増加した。

利用者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青年の城	55,390	53,819	53,776	49,579	49,707
野外活動	34,807	27,587	26,376	24,799	19,818
スポーツ	132,498	131,091	149,972	164,098	190,883
施設計	222,695	212,497	230,124	238,476	260,408

利用者数内訳		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
青年の城	県内(人)	17,350	32.2%	15,566	31.4%	16,218	32.6%
	県外(人)	36,526	67.8%	34,013	68.6%	33,489	67.4%
	計	53,876		49,579		49,707	
利用料金収入額(円)		37,655,410		35,929,075		34,522,460	
野外活動センター	県内(人)	9,177	34.8%	8,848	35.7%	7,278	36.7%
	県外(人)	17,199	65.2%	15,951	64.3%	12,540	63.3%
	計	26,376		24,799		19,818	
利用料金収入額(円)		12,137,070		10,996,795		8,786,985	
スポーツ施設	県内(人)	135,772	90.6%	147,449	89.9%	169,436	88.8%
	県外(人)	14,164	9.4%	16,649	10.1%	21,447	11.2%
	計	149,936		164,098		190,883	
利用料金収入額(円)		18,232,265		18,184,715		18,834,090	

主なスポーツ施設	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野球場	8,604	10,536	8,817	9,634	12,478
草野球場	15,843	11,699	11,424	18,535	25,921
陸上競技場	36,979	41,749	49,642	50,295	49,017
球技場	16,472	8,991	18,055	17,783	15,126
テニスコート	33,523	33,841	33,054	31,391	31,878

(4) 事業参加者数 110,000人 84,106人 (77,848人) 76.5%

年間事業は順調に推進できたが、5月の「新緑祭」が雨天により2日間開催を1日に短縮したこと、7月には大雨警報の影響により「希望が丘ファミリーキャンプフェスタ」を中止、9月にも台風接近のため「ディスクゴルフ大会」などを中止した。さらに、3月下旬の冷え込みにより「スプリングフェスティバル」の来園者も今ひとつ伸び悩み、目標をクリアすることができなかった。

事業参加者数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	81,462	96,311	100,626	98,455	77,848	84,106

(5) 満足度向上 90%以上 94.1% (90.9%) 104.5%

各施設の利用者から、施設利用や活動全般および職員対応について、また、事業の参加者から、事業内容と職員対応について、アンケートを取り、その結果をもとに満足度を算出したところ、目標を達成することができた。来園者にはWELCOMEスマイルを合い言葉として、気持ちよくご利用、ご参加いただけるよう爽やかで心のこもった対応に心がけてきた。

3 管理運営面の主な取組

- (1) 公園施設や設備は築後47年を経て老朽化が顕著で、危険箇所や損傷が多発しているため、利用者の安全確保・事故防止に最大限の配慮を行った。また、子ども広場の安全点検の強化をはじめ、見直しや活性化策の検討を行いつつ修繕を実施した。
- (2) 四季折々に変化に富んだ広大で豊かな自然環境を、憩い、癒やしの空間として、保持・保全に努めた。特に、スポーツ施設周辺の低木植込み内の美観維持、キャンプ場テントサイト周辺やキャンプ道等の間伐整備や伐採等を行い、景観に配慮しながら魅力的な森づくり、公園づくりに取り組んだ。
- (3) 学校団体が求めるニーズや環境の変化により宿泊利用が減少傾向にあるため、県内の小中学校の校長会や教育委員会へ出向きPR活動を行った。さらに、体験プログラムの活動内容を見直し、各学校、スポーツ少年団、子ども会へ紹介させていただき利用促進に努めた。
- (4) 開園から47年が経過したことにより、中央道やキャンプ道両側の薄く認識しづらかった白線塗装や、人気の高い子ども広場の滑り台やトランポリンの補修など、常に安全・安心を念頭に置き施設・設備の維持、修繕に取り組んだ。

4 事業推進面の主な取組

- (1) 青少年宿泊研修施設(青年の城)および野外活動施設(野外活動センター)では、自然に触れ、自然に学ぶ活動を通して、豊かな人間性、創造性を育み、社会性を養いながら、たくましく生きる力を醸成する各種事業を展開した。特に、自然体験活動を促進する「きぼっこ体験事業」として、「夏休みわんぱくキャンプ」「夏休み自然塾」「里山楽校」「林間スクール」など12事業を実施した。
- (2) 3年目となる「全国中学校駅伝大会」の後援をはじめ、広大なフィールドの特性を活かし、目的に応じた様々なコースを設定し、かつ安全に大会運営が可能であることから開催された「トレイルランニング」「滋賀30K」および「42.195Kmリレーマラソン」などの各種大会に後援、協力した。
- (3) 三井アウトレットパーク滋賀竜王やイオンモール草津など多くの人々で賑わう県内屈指の商業施設に出向いて公園の自然体験プログラムの魅力を紹介し、PRと誘客に努めた。
- (4) 将来のアスリートを夢見るサッカー少女が競い合う「びわ湖カップなでしこサッカー大会」において今年度から新たに「スポーツ振興基金(TOTO)」の助成を受け、選手を支援する競技用備品の充実とともにコートや会場の設営、審判員の増員などの効率化が図れた。
- (5) 憩いや癒しの場の提供、交流・交歓促進の「新緑祭」、幅広い年代層がスポーツを楽しみ、健康増進を図る「スポーツフェスティバル」、春風とともに生き活きと体験できる「スプリングフェスティバル」など、子どもたちを中心に多くの来園者に自然の中で楽しむ時間を持っていたいた。
- (6) 県内の大学生や中学生に公園の業務や事業を通して就業・職場体験をしてもらい、彼らの将来の社会生活に活かせる必要な知識、技術、技能を身につける良い機会となるよう「インターンシップ」を継続して行った。また、近隣の専門学校へも出向き、コミュニケーション能力や協調性、社会性など様々な能力の育成、スポーツ競技にも効果的な野外活動の授業・実習を継続して行った。
- (7) 次世代を担う子どもたちに、たくましく生きる力を養うために必要な知識や実践体験を積み重ねる学生のキャンプリーダーの養成講習、研修事業の充実、豊富な知識・経験・技能を持った公園サポーターの活躍の場の提供など、人材育成事業に継続して取り組んだ。

5 施設利用の実績

種 別	件 数	利用者数	施設使用料		付帯施設使用料		計
			件	人	円	円	
(青年の城 施設 研修利用・ 宿泊室)	日帰り計	106 (66)	5,934 (4,157)	359,645 (186,375)	76,990 (39,570)	436,635 (225,945)	
	県内	75 (52)	4,198 (2,542)	226,925 (140,885)	60,330 (38,570)	287,255 (179,455)	
	県外	31 (14)	1,736 (1,615)	132,720 (45,490)	16,660 (1,000)	149,380 (46,490)	
	宿泊計	392 (415)	43,773 (45,422)	33,465,575 (35,089,740)	620,250 (613,390)	34,085,825 (35,703,130)	
	県内	162 (164)	12,020 (13,024)	6,088,325 (6,585,070)	202,110 (136,820)	6,290,435 (6,721,890)	
	県外	230 (251)	31,753 (32,398)	27,377,250 (28,504,670)	418,140 (476,570)	27,795,390 (28,981,240)	
	小 計	498 (481)	49,707 (49,579)	33,825,220 (35,276,115)	697,240 (652,960)	34,522,460 (35,929,075)	
等 (施設 野利 キャン外 ンプ活 動セ ンタ ー 会 議 室)	日帰り計	205 (223)	13,341 (15,198)	4,993,165 (5,764,725)	27,340 (8,630)	5,020,505 (5,773,355)	
	県内	113 (123)	4,660 (4,804)	1,154,785 (1,098,790)	12,880 (7,220)	1,167,665 (1,106,010)	
	県外	92 (100)	8,681 (10,394)	3,838,380 (4,665,935)	14,460 (1,410)	3,852,840 (4,667,345)	
	宿泊計	191 (237)	6,477 (9,601)	3,412,270 (4,833,160)	354,210 (482,080)	3,766,480 (5,315,240)	
	県内	64 (78)	2,618 (4,044)	884,470 (1,281,960)	181,930 (153,330)	1,066,400 (1,435,290)	
	県外	127 (159)	3,859 (5,557)	2,527,800 (3,551,200)	172,280 (236,950)	2,700,080 (3,788,150)	
	小 計	396 (460)	19,818 (24,799)	8,405,435 (10,597,885)	381,550 (398,910)	8,786,985 (10,996,795)	
施設利用 (スポ ーツ 施設)	ソフトボール場 計	73 (54)	3,283 (2,291)	385,280 (350,840)	0 (0)	385,280 (350,840)	
	県内	65 (49)	2,916 (2,085)	324,140 (313,800)	0 (0)	324,140 (313,800)	
	県外	8 (5)	367 (206)	61,140 (37,040)	0 (0)	61,140 (37,040)	
	野球場計	137 (136)	12,478 (9,634)	1,204,980 (1,164,480)	143,410 (130,090)	1,348,390 (1,294,570)	
	県内	121 (123)	10,835 (8,381)	950,300 (953,800)	129,370 (120,530)	1,079,670 (1,074,330)	
	県外	16 (13)	1,643 (1,253)	254,680 (210,680)	14,040 (9,560)	268,720 (220,240)	
	草野球場計	126 (115)	25,921 (18,535)	795,370 (763,100)	0 (0)	795,370 (763,100)	
	県内	97 (90)	22,179 (15,947)	517,200 (453,980)	0 (0)	517,200 (453,980)	
	県外	29 (25)	3,742 (2,588)	278,170 (309,120)	0 (0)	278,170 (309,120)	
	陸上競技場計	549 (363)	49,017 (50,295)	2,247,600 (1,821,420)	403,140 (211,260)	2,650,740 (2,032,680)	
	県内	455 (270)	44,728 (46,880)	1,262,570 (1,031,450)	361,080 (180,160)	1,623,650 (1,211,610)	
	県外	94 (93)	4,289 (3,415)	985,030 (789,970)	42,060 (31,100)	1,027,090 (821,070)	
	球技場計	70 (74)	15,126 (17,783)	571,200 (667,260)	48,630 (70,950)	619,830 (738,210)	
	県内	60 (55)	13,473 (15,126)	409,220 (369,240)	36,090 (49,900)	445,310 (419,140)	
	県外	10 (19)	1,653 (2,657)	161,980 (298,020)	12,540 (21,050)	174,520 (319,070)	
	体育室計	190 (194)	28,708 (20,173)	1,747,110 (1,643,075)	51,700 (32,660)	1,798,810 (1,675,735)	
	県内	157 (160)	23,918 (16,853)	1,081,220 (1,052,755)	41,200 (30,910)	1,122,420 (1,083,665)	
	県外	33 (34)	4,790 (3,320)	665,890 (590,320)	10,500 (1,750)	676,390 (592,070)	
	格技場計	31 (18)	9,600 (2,736)	157,830 (88,540)	0 (0)	157,830 (88,540)	
	県内	18 (11)	8,007 (1,860)	62,850 (38,160)	0 (0)	62,850 (38,160)	
	県外	13 (7)	1,593 (876)	94,980 (50,380)	0 (0)	94,980 (50,380)	
	会議室計	33 (37)	7,954 (3,147)	112,110 (120,730)	0 (0)	112,110 (120,730)	
	県内	26 (25)	7,164 (2,386)	79,910 (67,050)	0 (0)	79,910 (67,050)	
	県外	7 (12)	790 (761)	32,200 (53,680)	0 (0)	32,200 (53,680)	

施設利用 (スポーツ施設)	会議室A計	28 (24)	6,579 (2,046)	101,050 (88,770)	0 (0)	101,050 (88,770)
	県内	21 (15)	5,789 (1,435)	68,850 (50,970)	0 (0)	68,850 (50,970)
	県外	7 (9)	790 (611)	32,200 (37,800)	0 (0)	32,200 (37,800)
	会議室B計	5 (13)	1,375 (1,101)	11,060 (31,960)	0 (0)	11,060 (31,960)
	県内	5 (10)	1,375 (951)	11,060 (16,080)	0 (0)	11,060 (16,080)
	県外	0 (3)	0 (150)	0 (15,880)	0 (0)	0 (15,880)
	卓球場計	429 (609)	1,477 (2,118)	245,950 (347,010)	0 (0)	245,950 (347,010)
	県内	386 (565)	1,283 (1,922)	212,410 (312,610)	0 (0)	212,410 (312,610)
	県外	43 (44)	194 (196)	33,540 (34,400)	0 (0)	33,540 (34,400)
	更衣室計	4 (2)	2,621 (2,222)	7,740 (6,020)	0 (0)	7,740 (6,020)
	県内	4 (2)	2,621 (2,222)	7,740 (6,020)	0 (0)	7,740 (6,020)
	県外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	テニスセンター コート計	48 (72)	177 (241)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	県内	41 (56)	158 (183)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	県外	7 (16)	19 (58)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	人工芝コート計	464 (678)	19,458 (18,495)	6,039,480 (6,128,390)	0 (0)	6,039,480 (6,128,390)
	県内	437 (629)	18,736 (18,022)	5,457,400 (5,660,550)	0 (0)	5,457,400 (5,660,550)
	県外	27 (49)	722 (473)	582,080 (467,840)	0 (0)	582,080 (467,840)
	ハードコート計	90 (137)	1,754 (2,078)	311,440 (313,180)	0 (0)	311,440 (313,180)
	県内	77 (116)	1,706 (1,970)	202,640 (203,350)	0 (0)	202,640 (203,350)
	県外	13 (21)	48 (108)	108,800 (109,830)	0 (0)	108,800 (109,830)
	屋内コート計	538 (680)	10,489 (10,577)	3,856,530 (3,825,870)	0 (0)	3,856,530 (3,825,870)
	県内	517 (652)	9,722 (10,289)	3,409,930 (3,424,670)	0 (0)	3,409,930 (3,424,670)
	県外	21 (28)	767 (288)	446,600 (401,200)	0 (0)	446,600 (401,200)
ピクニックランド 計	198 (179)	2,820 (3,773)	235,610 (214,050)	0 (0)	235,610 (214,050)	
県内	144 (136)	1,990 (3,343)	128,710 (120,810)	0 (0)	128,710 (120,810)	
県外	54 (43)	830 (430)	106,900 (93,240)	0 (0)	106,900 (93,240)	
屋内コート照明設 備他計				268,980 (285,790)	268,980 (285,790)	
小計	2,980 (3,348)	190,883 (164,098)	17,918,230 (17,453,965)	915,860 (730,750)	18,834,090 (18,184,715)	
駐車場利用	大型車計	458 (409)	0 (0)	732,800 (654,400)	0 (0)	732,800 (654,400)
	東ゲート	111 (164)		177,600 (262,400)		177,600 (262,400)
	西ゲート	347 (245)		555,200 (392,000)		555,200 (392,000)
	マイクロバス計	420 (426)	0 (0)	441,000 (447,300)	0 (0)	441,000 (447,300)
	東ゲート	55 (49)		57,750 (51,450)		57,750 (51,450)
	西ゲート	365 (377)		383,250 (395,850)		383,250 (395,850)
	普通車計	93,328 (90,072)	0 (0)	44,288,500 (42,739,000)	0 (0)	44,288,500 (42,739,000)
	東ゲート	10,887 (9,083)		5,169,750 (4,230,250)		5,169,750 (4,230,250)
	西ゲート	80,165 (79,048)		38,061,250 (37,598,250)		38,061,250 (37,598,250)
	南ゲート	2,276 (1,941)		1,057,500 (910,500)		1,057,500 (910,500)
	自動二輪車等 計	807 (816)	0 (0)	161,400 (163,200)	0 (0)	161,400 (163,200)
	東ゲート	338 (214)		67,600 (42,800)		67,600 (42,800)
	西ゲート	447 (562)		89,400 (112,400)		89,400 (112,400)
南ゲート	22 (40)		4,400 (8,000)		4,400 (8,000)	

駐 車 場 利 用	回数券計 (5000円)	148 (220)	0 (0)	740,000 (1,100,000)	0 (0)	740,000 (1,100,000)
	東ゲート	29 (43)	0 (0)	145,000 (215,000)	0 (0)	145,000 (215,000)
	西ゲート	114 (175)	0 (0)	570,000 (875,000)	0 (0)	570,000 (875,000)
	南ゲート	5 (2)	0 (0)	25,000 (10,000)	0 (0)	25,000 (10,000)
	回数券計 (2000円)	252 (225)	0 (0)	504,000 (450,000)	0 (0)	504,000 (450,000)
	東ゲート	40 (32)	0 (0)	80,000 (64,000)	0 (0)	80,000 (64,000)
	西ゲート	202 (186)	0 (0)	404,000 (372,000)	0 (0)	404,000 (372,000)
	南ゲート	10 (7)	0 (0)	20,000 (14,000)	0 (0)	20,000 (14,000)
	小 計	95,413 (92,168)	0 (0)	46,867,700 (45,553,900)	0 (0)	46,867,700 (45,553,900)
	(施 設 利 用 計)	青年の城	406 (408)	406 (408)	129,645 (122,445)	0 (0)
スポーツ会館		3,842 (3,653)	3,842 (3,653)	924,195 (1,069,945)	0 (0)	924,195 (1,069,945)
小 計		4,248 (4,061)	4,248 (4,061)	1,053,840 (1,192,390)	0 (0)	1,053,840 (1,192,390)
施設利用計	103,535 (100,518)	264,656 (242,537)	108,070,425 (110,074,255)	1,994,650 (1,782,620)	110,065,075 (111,856,875)	

6 指定管理事業の実績

(1) 交流・憩いの場の提供／祭り事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人		備考
希望が丘キッズフェスティバル	平成30年4月28日(土)・29日(日) 子どもたちに遊びやスポーツ・レクリエーションなどが体験できる場と家族や仲間と楽しく交流できる機会を提供するとともに、文化ゾーンのPRを図った。	無料	2,585 (1,893)		入場者等 見込数 1,200
[事業成果] 今年度は、未就学児童にチラシ配布を行ったことにより、多くの年少の子どもとその家族で賑わった。好天にも恵まれ、ゆったり過ごしていただくことができ、文化ゾーンを認知してもらう機会を提供することができた。					
希望が丘新緑祭	平成30年5月12日(土) 新緑の美しい季節に、大道芸や昔遊びにチャレンジするコーナー、バランスボール体験、木製ジャングルジム(くむんだー)等を実施し、幅広い年齢層の方が集い、家族や仲間がふれあいと交流を深める憩いの場を創出した。 13日(日)は雨天中止	無料 参加料 100	6,206 (9,138)		入場者等 見込数 18,290
[事業成果] 新緑の季節に、多くの老若男女の方が集い、家族や仲間がふれあい、交流を深める憩いの場を創出することができた。また、公園の施設や事業を紹介する展示コーナーを設け、PRを図ることができた。					
希望が丘紅葉祭	平成30年11月1日(木)～30日(金) 紅葉の時に「かえでの森」を中心に多彩な催しを実施し、公園のPRや利用者拡大を図った。俳句の投句募集と展示、どんぐり拾いなど自然を楽しむ機会を提供するとともに、23日・24日には呈茶やおカリナコンサートのイベントを実施した。	無料 参加料 100	7,040 (6,791)		入場者等 見込数 5,900
[事業成果] 紅葉のとき1ヶ月間を「紅葉祭」とし、期間を通して自然を楽しむ様々な体験プログラムを提供することにより、自然への関心を高めていただくとともに、公園に対する親しみを感じていただけた。					

希望が丘ふれあい祭	平成30年11月10日(土)・11日(日) さわやかな秋の季節に、公園を訪れるきっかけとなるアトラクションを実施してにぎわいを創出し、希望が丘文化公園のPRを図り、認知度を高めることに努めた。	参加料 100	12,340 (0)			入場者等 見込数 17,500
〔事業成果〕 晩秋の希望が丘スポーツゾーンに多くの老若男女がつどい、様々な体験プログラムを楽しんでいたが、家族のふれあいや仲間との交流を深めていただく場・機会を提供することができた。10日(土)は時折強風が吹く肌寒い日であったため、来園者数は伸び悩んだ。						
希望が丘新春まつり	平成31年1月5日(土) 会場をスポーツゾーンから文化ゾーンに移し、たこづくりワークショップとたこあげ大会を開催した。家族と一緒にものづくりを楽しみ、普段はなかなか体験できない機会を提供することができた。	400	129 (110)			入場者等 見込数 240
〔事業成果〕 今回は、会場をスポーツゾーンから青年の城およびその周辺の多目的広場等に移した。新春早々から文化ゾーンが賑わうこととなり、ものづくりやたこあげを楽しんでいた一方、文化ゾーンのPRを図ることができた。						
希望が丘スプリングフェスティバル	平成31年3月23日(土)・24日(日) 日頃のご愛顧を感謝し、シタケの菌打ち体験、焼杉クラフト、竹馬等の昔遊びなどを幅広い年齢層の方に楽しんでいただけるイベントを開催した。	参加料 100	12,532 (14,648)			入場者等 見込数 17,000
〔事業成果〕 2日間とも寒の戻りで寒い日であったことから例年より来園者は少なかったものの、1万人を超える来園者にさまざまな体験コーナーを楽しんでいただき、ふれあいと交流を深める機会・場を提供することができた。						
希望が丘交流ひろば	平成30年5月12日(土)、10月13日(土)・14日(日)、11月10日(土)・11日(日)、平成31年3月23日(土)・24日(日) 全7回 フリーマーケットや物産展・食事コーナーの開設により、来園者に開放感あふれる希望が丘を堪能していただき、参加者のニーズに応えることができた。 13日(日)は雨天中止	無料 フリーマーケット出店料 3,000 テント出店料 7,500 10,500 15,000	4,340 (2,907)			入場者等 見込数 6,450
〔事業成果〕 自然豊かな環境の希望が丘文化公園スポーツゾーンにおいて、フリーマーケットや物産・食事コーナーなどを通じて、老若男女の多くの人々が集い、家族のふれあいや仲間との交流を深める場を提供できた。						
希望が丘のびのびペインティング	平成30年4月28日(土)・29日(日)、5月12日(土)、10月13日(土)・14日(日)、11月10日(土)・11日(日)、平成31年3月23日(土)・24日(日) 全9回 大きな絵を描く経験が少ない子どもたちにチョークで地面に思いっきり絵・文字を描き、消すことを通して創造性や自主性を伸ばす機会を提供した。 5月13日(日)は雨天中止	100	594 (458)			入場者等 見込数 500
〔事業成果〕 地面(アスファルト)にチョークで自由に絵や文字を描き、描き終えたらバケツに水を汲み、大きなデッキブラシを使って、描いた絵をゴシゴシ消すまでの体験を実施した。普段はできない体験を親子で楽しみながら、責任感が増すとの理由から子ども・保護者ともに好評であった。						

(2) スポーツ・健康づくりの推進事業

希望が丘ハイキング	平成30年4月21日(土)、6月30日(土)、12月8日(土)、平成31年2月2日(土) 全4回 四季それぞれの希望が丘周辺を歩く約8kmのコースを設定し、初級者から中級者までが楽しめるハイキングを開催した。	400 (500)	105 (96)			入場者等 見込数 120
〔事業成果〕 自然環境に恵まれた公園とその周辺地域を活用し、自然とのふれあいや環境、生態系に関する気づきや健康の維持管理が得られる場を提供することができた。また、参加者同士にふれあいの機会を提供することができた。						
希望が丘スポーツフェスティバル	平成30年10月13日(土)・14日(日) 年齢を問わず、気軽にさまざまなスポーツを体験できる場を提供し、体を動かす楽しさや普段の体力についての気づきを得る機会とした。	無料 参加料 100	15,002 (12,319)			入場者等 見込数 17,500
〔事業成果〕 国立青少年教育振興機構の「体験の風をおこそう運動」とタイアップし、50m走やバウンドラグビーボール投げなど多様なプログラムを提供し、家族で気軽に参加・体験できる場を提供することができた。						
希望が丘家族ふれあいランニングスクール2019	平成31年1月13日(日) 小学生とその保護者を対象に、指導者によるランニング指導を通じて走る楽しさと家族のふれあいを深めることを目的に開催した。	500	185 (0)			入場者等 見込数 300
〔事業成果〕 体調不良によるキャンセルが多く出たことが残念であった。午前に学生陸上部員によるランニングスクールを、午後は記録会を実施した。参加児童は走る楽しさを体験し、スポーツへの関心をさらに深めた。						
第31回滋賀県グラウンド・ゴルフ春季大会(共催)	【予選】平成30年5月19日(土)・20日(日) 【決勝】平成30年5月27日(日) 予選は芝生ランドに特設コースを設け、決勝は常設のグラウンド・ゴルフ場を使用した。今回は、「滋賀県民総スポーツの祭典 滋賀県スポーツ・レクリエーション大会の部」「関西マスターズスポーツフェスティバル2018」「近畿地区GG交歓大会県代表選考会」をかねて開催された。	無料	1,348 (1,256)			入場者等 見込数 1,500 主催 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会 他
〔事業成果〕 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と連携して運営にあたり、参加者が芝生ランドの特設コースや希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースを使用して、日頃の練習の成果を発揮すると共に相互交流を図ることができた。						
第31回滋賀県グラウンド・ゴルフ秋季大会(共催)	平成30年10月21日(日) グラウンド・ゴルフ場常設コースを使用して実施した。生涯スポーツとして楽しめるグラウンド・ゴルフの普及を目指す一方、参加者の健康づくり、仲間づくりを目的とし、今回は「ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会」「全国健康福祉祭滋賀県代表選考会」「全国GG交歓大会滋賀県代表選考会」を兼ねて開催された。	無料	324 (324)			入場者等 見込数 500 主催 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会 他
〔事業成果〕 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と連携して運営にあたり、参加者が日頃の練習の成果を発揮するとともに相互交流を図ることができた。						

希望が丘ジュニアサッカーフェスタ U-10 2018	平成30年6月17日(日) 小学4年生以下で構成されている24チームが各ブロック総当たりで勝敗を競い、1位チームによるトーナメントを実施した。	3,000	450 24チーム (458)			入場者等 見込数 640
〔事業成果〕 試合経験の少ない小学4年生以下の選手を対象に、8人制の大会を通して将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、技術の向上と健全な心身の育成・発達を図り、子どもたちが楽しみ成長できるゲーム、“フェアプレー”や“リスペクト”の精神を育む機会を提供することができた。優勝・A.Z.R(アズーロ)						
全国の仲間と深めよう 競いあおう 第9回びわ湖カップ 少年サッカー大会 U-11	平成30年8月14日(火)・15日(水)・16日(木) 県内外のチームを招き、サッカー競技を通じてスポーツを楽しみ、交流と友情を深めた。今年度は熱中症対策として日程を工夫して開催した。	15,000	3,017 32チーム (4,914)			入場者等 見込数 3,000 共催 滋賀県スポーツ協会 京都新聞
〔事業成果〕 3日間にわたり32チームが熱戦を繰り広げた。熱中症対策を講じた運営は功を奏し、無事成功裏に終えることができた。ヴィッセル神戸U-12が優勝し、滋賀県勢ではA.Z.R(アズーロ)が1位トーナメントの6位に入賞した。アディダスクリニックやフレンドリーマッチも盛況であった。						
希望が丘ディスクゴルフ大会 2018	平成30年9月30日(日) 全国スポレク祭ディスクゴルフ大会の会場であったことを契機に、同競技の普及と公園常設コースのPRを図るために継続開催する予定であったが、台風24号接近のため中止した。(応募:63名)	県内 1,500 県外 2,000 大学生以下 1,000	0 (57)			入場者等 見込数 70 共催 竜王町、竜王町教育委員会、滋賀県フライングディスク協会
〔事業成果〕						
第20回びわ湖カップ 健康グラウンド・ゴルフ大会	平成30年10月27日(土) 全国のグラウンドゴルフ愛好者を対象に、日頃の成果の発揮や健康・仲間づくりの推進を目的として、希望が丘グラウンド・ゴルフ場常設コースにおいて、8ホール4ラウンドを1日開催で実施した。	大会参加料 1,500 団体登録料 300	438 (411)			入場者等 見込数 400 共催 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会
〔事業成果〕 常設コースを使用し、8ホール×4コースで競った。希望者には6名1組の団体戦にも臨んでいただいた。滋賀県はもとより、東京・神奈川・石川・岐阜・愛知・三重・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山などから参加していただき、盛況に開催することができた。						
男子第69回滋賀県高等学校駅伝競走大会 女子第36回滋賀県高等学校駅伝競走大会(共催)	平成30年11月4日(日) 滋賀県内高等学校から選手が集い、全国および近畿大会への出場資格が得られる予選会を開催した。	※有料 ※収入支出とも共催者	1,800 (1,401)			入場者等 見込数 2,000 主催 滋賀県高等学校体育連盟 滋賀陸上競技協会 滋賀県教育委員会 毎日新聞社
〔事業成果〕 「安全に走れる」「コースに起伏があるが好記録が出せる」「来場者の駐車スペースが十分である」などフィールドに対する大会関係者の評価が高い。男女ともに区間新記録が出たうえ、女子の優勝タイムは大会最高タイムを記録するなど充実した大会であった。						

びわ湖男女駅伝フェスティバル2018(共催)	平成30年11月25日(日) 駅伝のおもしろさや楽しさを通して、市民ランナーやジョギング愛好者に門戸を広げ、健やかなライフスタイルの充実を図ることを目的に開催した。	※収入支出とも共催者 (一部財団負担)	1,728 (1,503)			入場者等見込数 1,300 主催 滋賀県スポーツ協会 京都新聞
〔事業成果〕 滋賀や近隣県外から169チームが参加された。一般の部(高校生含む)7区・32km、中学生の部5区・15km、小学生の部5区・5kmで実施され、昨年以上の観客で盛況となった。						
BIWAKOクロカン2019(共催) (第30回全日本びわ湖クロスカントリー大会・第4回全日本中学生クロスカントリー選手権大会)	平成31年2月17日(日) 広大かつ安全な園内環境で、全国から集まった選手による大会を開催し、中・長距離選手の強化・育成・発掘を行うとともに、相互交流を深める場を提供した。	※有料 ※収入支出とも共催者 (一部財団負担)	1,616 (1,150)			入場者等見込数 1,500 主催 近畿陸上競技協会 京都新聞
〔事業成果〕 全日本びわ湖クロスカントリー大会が第30回を迎えるのを契機に、全国中学生クロスカントリー選手権大会が同時開催されるなど大きく刷新された。32都道府県から参加者が集まり、トップレベルのレースが展開された。						
全国の仲間と深めよう 競いあおう 第8回びわ湖カップなでしこサッカー大会(U-12)	平成31年2月23日(土)・24日(日) 広大な芝生ランドを活かし、全国から選りすぐられた少女サッカーチーム32チームによる大会を開催した。	15,000	2,632 32チーム (2,550)			入場者等見込数 2,000 共催 滋賀県スポーツ協会 滋賀県サッカー協会 京都新聞
〔事業成果〕 全国から選出された32チームが2日間にわたり熱戦を繰り広げた。日々切磋琢磨する仲間が出会い、交流を深める機会を提供することができた。優勝:広島メイプルガールズ(広島) 準優勝:北摂ガールズ(兵庫) 3位:F.C.VIALA(徳島)						
滋賀県スポーツ少年団ラグビーフットボール大会(共催)	平成31年3月3日(日) 滋賀県内スクールの年度末最後の大会としてチャンピオンシップを決める試合を行い、競技レベルの向上と継続を目指すことを目的に県ラグビー協会ミニタグ委員会が運営した。	※有料 ※収入支出とも共催者 (一部財団負担)	200 (300)			入場者等見込数 400
〔事業成果〕 小学中高学年(3~6年生)はフルコンタクト、小学低学年(1・2年生)はタグラグビーで試合を実施。雨が降るコンディションであったが、県内の6スクールが日頃の練習成果を発揮する場を提供することができ、実りのある大会であった。						

(3) 自然を体験し楽しみながら学ぶ場／宿泊体験・自然学習事業

希望が丘自然観察会	平成30年4月21日(土)、10月27日(土)、平成31年3月2日(土) 全3回 季節に応じて「春の植物」「秋のきのこ」「水生生物」をテーマに実施。専門家を講師に招く一方で、公園サポーターが補助を務めるなど内容の充実を図った。 7月7日(土)「夏のトンボと昆虫」は大雨警報発令のため中止	300	79 (108)			入場者等見込数 120
〔事業成果〕 各回とも講師の丁寧な解説は好評を得ており、参加者の満足度は高い。園内の自然は多様性に富み、子どもも大人も夢中になり、自然に対しての興味関心や理解を深める機会・場となっている。						

<p>“きぼっこ体験事業” ちびっこファミリー自然とあそぼう</p>	<p>平成30年5月27日(日)、6月24日(日)、9月23日(日)、10月8日(月祝)、11月3日(土) 全5回</p> <p>未就学児とその家族を対象に、季節に応じた体験活動を通して身近な自然や生きものへの興味・関心を高める機会を提供した。</p>	200	131 (90)			入場者等 見込数 100
<p>[事業成果] 初夏から初冬にかけて、5回にわたり季節に応じて自然に親しみ、新しい気づきや発見が得られるような内容で活動を行った。虫取り網での虫つかみや川に入っの生き物探し、ネイチャーゲームやクラフトの手法を取り入れ、子どもたちを飽きさせないよう工夫して活動することができた。</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘里山楽校</p>	<p>平成30年5月19日(土)～20日(日) 1泊2日</p> <p>小学生を対象に、里山体験や仲間との共同生活を通して自立・協調の芽生えを促し、自然とふれあうことで生き物や環境に配慮した行動がとれるようなプログラムを実施した。</p>	6,000	64 (60)			入場者等 見込数 60
<p>[事業成果] 風が強く、気温が上がらない寒い日であったが、子どもたちは泥だらけになりながらも田植え体験を行った。ナイトハイクや樹木ビンゴ等の活動を通して自然に触れ、直接体験により人間生活と自然とのつながりを感じることができるようになった。</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み自然塾</p>	<p>平成30年7月25日(水)～28日(土) 3泊4日</p> <p>県内在住在学の小学3年生から小学6年生までの参加者が、基礎学習とフィールドワークを行ったあと、希望する6つの専門分野①「植物」②「野鳥」③「昆虫」④「水生生物」⑤「プランクトン」⑥「岩石と岩」のいずれかに分かれて調査研究を進め、最終日には、個人のレポートとして仕上げた保護者が見学するなか成果発表を行った。</p>	22,000 (20,000)	79 (78)			入場者等 見込数 70
<p>[事業成果] 災害レベルの猛暑の中、安全対策に細心の注意を払いつつ、プログラムや日程を大幅に変更しながら行った。気象状況によって屋外活動が減ったことは残念であるが、参加児童は専門家の指導の下調査研究に励み、最終日には成果発表を行うことで充足感に満たされていた。</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み林間スクール</p>	<p>平成30年8月5日(日)～6日(月) 1泊2日</p> <p>夏休みに、子どもたちが生活体験や自然体験を通して自主性、協調性、生きる力を身に付ける一助となるプログラムを実施した。</p>	6,000	68 (67)			入場者等 見込数 60
<p>[事業成果] 猛暑のためプログラム変更を余儀なくされたが、自然物によるTシャツ染めやキャンプファイヤー等の活動を通して、自主性・協調性を育み、自然への興味を高める機会・場を提供することができた。</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の里山楽校</p>	<p>平成30年12月8日(土)～9日(日) 1泊2日</p> <p>小学生を対象に、里山体験や共同生活の体験を通して異年齢間の交流を図り、自主性、協調性を養う機会とした。また、「森の学習」のプログラムを取り入れて自然とふれあい、その大切さを考える場とした。</p>	6,000	64 (62)			入場者等 見込数 60
<p>[事業成果] 炭焼き窯の見学や薪割り、柴集め、七輪を使ったおかきづくりなどの体験を通し、参加児童たちは昔の人の生活に思いをはせ、自然と生活のつながりについて多くの気づきや学びを得ることができた。</p>						

<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の林間スクール</p>	<p>平成31年1月19日(土)～20日(日) 1泊2日</p> <p>冬の希望が丘で、子どもたちが生活体験や自然体験を通して自主性、協調性、生きる力を身に付ける一助となるプログラムを実施した。</p>	6,000	56 (70)			入場者等 見込数 60
<p>[事業成果] 「つなぐ」をテーマとし、協力しなければ目的が達成できないプログラムを提供することにより、参加者やキャンプリーダー、職員も一丸となって取り組み、協調性・自主性を育むとともに深い充実感と達成感を得ることができた。</p>						
<p>第51回滋賀県スポーツ少年大会(共催)</p>	<p>平成30年8月3日(金)～5日(日) 2泊3日</p> <p>滋賀県下のスポーツ少年団員を対象に、スポーツ活動、文化学習活動を通して青少年の心と体を育てるとともに、リーダーの育成や活動の活性化を図ることを目的に開催した。</p>		68 (141)			入場者等 見込数 100 主催 滋賀県スポーツ協会
<p>[事業成果] 講義をはじめ、ボールや大縄跳び、風船等を使ったグループ対抗の運動会やキャンプファイヤー等を通して団員の交流を深めるとともに、資質向上に取り組むことができた。</p>						
<p>滋賀県スポーツ少年団 ジュニア・リーダースクール(共催)</p>	<p>平成30年11月3日(土)～4日(日) 1泊2日</p> <p>県内スポーツ少年団活動で重要な役割を果たすリーダーの育成と、将来へ向けた指導者の育成を目指して継続開催した。</p>		93 (102)			入場者等 見込数 100 主催 滋賀県スポーツ協会
<p>[事業成果] 県内9市町から45名の団員が参加し、「リーダーになるために必要なこと」「望ましいリーダー」等についての講義やグループごとのディスカッションと発表を通し、各自がリーダーとしての自覚を強く持つことができるとともに、仲間との交流を深めることができた。</p>						

(4) 自然を体験し楽しみながら学ぶ場／野外活動・キャンプ事業

<p>希望が丘ふれあいキャンプ～病気の子どもたち・障がいのある子どもたちとともに～(共催)</p>	<p>平成30年4月15日(日)、9月1日(土)～2日(日)</p> <p>一人でキャンプをすることができない病気や障がいのある子どもたちとその家族を対象に、日頃体験しにくい活動をプログラムに取り入れ、日帰り1泊2日のキャンプを実施した。</p>	500～4,000	106 (82)			入場者等 見込数 80 主催 滋賀・病気の子どもたちの支援ネットワーク
<p>[事業成果] 病気や障がいを持つ子どもとその家族を対象にした継続11年目のキャンプ。医師や看護師で構成される「滋賀県難病連絡協議会」や「滋賀・病気の子どもたちの支援ネットワーク」と協働実施した。自然の中で、普段は味わえない体験の機会を提供することにより、家族の絆や参加者間の交流が深まるとともに、子どもたちの自立支援の一翼を担うことができた。</p>						
<p>希望が丘キャンプリーダー養成講習会</p>	<p>平成30年4月22日(日)、5月12日(土)～13日(日)</p> <p>キャンプリーダーへの登録に向けた入門研修会として、活動に必要な知識や技術を身につけることを目的に実施した。</p>	有料	96 (142)			入場者等 見込数 180 実費負担金徴収あり
<p>[事業成果] 野外活動センターにおけるリーダーとしての役割や機能を理解し、キャンプ活動に対する一般的な知識、技術を習得する初級編であるが、多くの参加者があり活気に満ちた期待の大きい研修会となった。</p>						

<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘アウトドアキッズキャンプ</p>	<p>平成30年6月16日(土)～17日(日) 1泊2日</p> <p>キャンプ活動を通して自主性・協調性を身につけてもらうことを目的に、ちびっこコース(小学1～3年生)とチャレンジコース(小学4～6年生)を設け、コースに応じたプログラムを実施した。</p>	<p>8,000</p> <p>実費負担金徴収あり</p>	<p>88 (97)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>60</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>学年に応じて参加者をコース分けし、難易度を考慮した公園の自然を活用したプログラムによって様々な気づきや学びの機会を提供し、直接体験を通して自分で考え行動すること、責任、協力、自然、環境の大切さ等について学んでもらうことができた。</p>						
<p>希望が丘ファミリーキャンプフェスタ</p>	<p>平成30年7月7日(土)～8日(日) 1泊2日</p> <p>自然の中での野外活動を通して日常では味わえない体験や感動を提供する予定であったが、大雨警報発令のため中止した。(応募:54家族196名)</p>	<p>2,000～3,500</p>	<p>0 (115)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>160</p>
<p>〔事業成果〕</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休みわんぱくキャンプ</p>	<p>平成30年8月13日(月)～19日(日) 6泊7日</p> <p>小学4～6年生を対象に6泊7日の自然体験・野外活動体験を通して協調性・創造性、チャレンジ精神を養うキャンプを実施した。子どもゆめ基金の助成を受け、活動内容を充実させた。</p>	<p>25,000</p> <p>実費負担金徴収あり</p>	<p>54 (53)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>60</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>毎日の目標を立てることで日々の活動のねらいを理解させ、自らが考え行動できるようにプログラムを企画し実施した。長期の活動を通して、与えられた役割を全うする責任、他者とのコミュニケーションや協力の大切さ、周囲や自然への感謝等多くの気づきを得るとともに、達成感と自信にあふれた姿を見ることができた。定員を超える応募があったが、猛暑等によるキャンセルがあり、定員を割ることとなった。</p>						
<p>“きぼっこ体験事業” 希望が丘ちびっこキャンプ</p>	<p>平成30年10月6日(土)～7日(日) 1泊2日</p> <p>キャンプ活動を通して自主性・協調性を身につけてもらうことを目的に、初めて保護者の元を離れる小学校低学年を対象に実施した。</p>	<p>8,000</p> <p>実費負担金徴収あり</p>	<p>68 (61)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>60</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>初めて野外活動を体験する子どもたちを想定し、自主性を尊重しながらキャンプリーダーが指導や安全管理を行うことにより、野外炊事やテント泊など充実したプログラムを実施することができた。低学年ながらチャレンジするたくましさや仲間との協調性が身に付き、様々な体験から多くの気づきや発見を得た。</p>						
<p>キャンプ活動の力～そのとき！ あなたにできること～(共催)</p>	<p>平成30年10月28日(日)</p> <p>滋賀県キャンプ協会の組織や会員が培ってきた様々なキャンプの技術や経験を災害時に活かすプログラムを企画し、体験機会を提供した。</p>	<p>※収入支出とも共催者</p>	<p>47 (36)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>100</p> <p>主催 滋賀県キャンプ協会</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>普段の生活をはじめ緊急時にも役立つキャンプの技術を体験してもらうことを通して、身近なもので命をつなぐ方法を知り、防災意識を高めていただく機会を提供することができた。</p>						

キャンプインストラクター養成講習会(共催) 平成30年11月16日(金)～18日(日) 2泊3日 滋賀県キャンプ協会と連携し、日本キャンプ協会公認のインストラクター資格取得のための講習会を開催した。			15 (0)			入場者等 見込数 20 主催 滋賀県キャンプ協会
[事業成果] 県内外から大学生や社会人など幅広い年齢層の受講者があり、新たなキャンプ指導者の誕生に寄与することができた。						
希望が丘ファミリーフェスタ 平成30年11月17日(土)～18日(日) 1泊2日 青年の城での宿泊を伴う体験活動の中で、自然に親しむプログラムを提供することにより、家族の絆を深めたり、他の家族との交流を図ることを目的に開催した。	3,500～4,500		56 (65)			入場者等 見込数 80
[事業成果] 体調不良等による直前のキャンセルにより定員を割ったことは残念であったが、余裕を持って対応することで参加者の満足度は高まった。アフリカ音楽のジャンベ体験やスウェデッシュトーチによる野外調理など工夫をこらしたプログラムは好評であり、今後の企画に手応えを感じた。						
“きぼっこ体験事業” 希望が丘秋のプチキャンプ 平成30年11月25日(日) 秋をテーマにしたプログラムにより、キャンプが初めての家族にも安心して参加できるデイキャンプを実施した。キャンプリーダーが研修で身につけた知識・技術を活かす場として、自分の役割を自覚し、指導体験を行った。	800～1,200		132 (0)			入場者等 見込数 120
[事業成果] ファミリー向けデイキャンプとして、野外調理、自然物を活かしたクラフト、火を囲んだレクリエーションゲームを実施した。キャンプリーダーの対応や指導は好評であった。						
“きぼっこ体験事業” 希望が丘わいわいクリスマスクッキング 平成30年12月23日(日) クリスマスにちなんだプログラムにより、キャンプリーダーが一般参加者を対象に研修会で身につけた知識・スキルを実践し、経験の蓄積とスキルアップを行った。	1,200～1,500		146 (147)			入場者等 見込数 120
[事業成果] ファミリー向けデイキャンプとして、クリスマスにちなんだ野外調理(丸鳥のロースト等)やクラフトを実施した。キャンプリーダーが、講習会や研修会で得た知識・スキルを実践する場でもあり、対応・プログラムとも好評であった。						
“きぼっこ体験事業” 希望が丘春のプチキャンプ 平成31年3月17日(日) キャンプが初めての家族にも安心して参加できるデイキャンプを実施した。キャンプリーダーが研修会で身につけた知識・スキルを活かす場として企画から実施までの過程に携わり、組織キャンプの運営や指導の学びを深めた。	800～1,200		108 (137)			入場者等 見込数 120
[事業成果] キャンプリーダーが参加者とふれあひながら、野外炊事をはじめとする活動全般の指導・支援を行い、親子のふれあひや他家族間の交流が深まるように場を盛り上げることに貢献した。						

希望が丘キャンプリーダー研修会	<p>通年</p> <p>キャンプリーダー人材育成の一環として、年間を通して活動に必要な知識や技術を身につけることを目的に講習会、研修会を実施した。</p>	<p>有料</p> <p>実費負担金徴収あり</p>	<p>1,051 (1,060)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>800</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>ハードスキル(キャンプ生活技術・アクティビティ指導能力など)ソフトスキル(カウンセリングマインド・集団運営能力・リーダーとしての能力)個人の資質(一般的な指導者として・キャンプの特性に対応する力)を向上させるための研修を行い、意欲向上と施設利用者・事業参加者へ配慮した行動が取れる人材が増した。</p>						

(5) 社会教育・生涯学習の支援事業

希望が丘アウトドアスクール	<p>通年</p> <p>専門学校の野外活動授業への講師派遣や学校団体等への体験活動指導のほか、県内大学のインターンシップ、中学校の就業体験受け入れと指導を行った。</p>	<p>8,000</p>	<p>736 (808)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>1,550</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>依頼先やインターンシップ生の目的を把握・理解し、実施するプログラムや体制に創意工夫した。来園することなく希望する場所で指導が受けられる点についての評価は高く、今後も依頼したいとの声がある。</p>						
クラフト&フィールドゲーム事業	<p>通年</p> <p>クラフトおよび屋外でのプログラムを施設利用者に実施する一方、イベント開催時には特設コーナーを設けて来園者に体験していただく工夫をした。</p>	<p>有料</p>	<p>4,154 (5,736)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>550</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>大雨や猛暑による学校団体等のキャンセルにより、施設利用者へのプログラム提供がかなり落ち込んだ。一方、公園が有する体験プログラムを新緑祭やふれあい祭等のイベントや園外での出張プログラムで紹介・体験していただく機会をつくり、広くPRすることができた。</p>						

(6) 連携・協働事業

公園総合PR事業	<p>通年</p> <p>インターネットをはじめとするITやパンフレット等紙媒体、パブリシティ活用等多様なメディアの活用および産学官民との連携や公園利用者の活動支援により、公園情報を広く発信し、来園者・利用者の増加を図った。</p>	<p>有料</p> <p>※実費負担金徴収あり</p>	<p>1,849 (2,551)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>5,500</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>ITやパンフレット等紙媒体、パブリシティ活用等により公園情報を広く発信することができた。また、三井アウトレットパーク滋賀竜王やイオンモール草津、「健康しが」(滋賀県主催)等への出張プログラムを積極的に行い、施設利用促進を図った。</p>						
公園サポーターの募集および養成事業	<p>通年</p> <p>個人の持つ特技や趣味を活かして社会貢献できる場を継続的に提供し、県民ニーズを事業展開や施設運営に活かすために実施した。</p>	<p>無料</p>	<p>45 (57)</p> <p>登録者数 34 (35)</p>			<p>入場者等 見込数</p> <p>160</p>
<p>〔事業成果〕</p> <p>登録者は明確な目的意識を持って自主的かつ積極的に活動されている。「ハイキング」や「自然観察会」、「新緑祭」等の企画や当日運営を通して自己実現を図りながらも公園の自然や施設紹介・PRに尽力していただいている。メンバーの固定化・高齢化は否めず、活性化のためにも若年層の新規登録者獲得を図らなければならない。</p>						

希望が丘パークフレンド事業 通年 当公園に親しみを感じていただき、来園者・利用者の拡大を図るためにメールマガジンを月1回程度送信した。また、登録者を対象に割引優待や会員限定イベントを実施した。 会員限定イベント 平成30年12月9日(日) 参加者:42名		無料	42 (50) 登録者数 442 (532)			入場者等 見込数 100
【事業成果】 普段はつながることがほとんどない登録者同士が、年に1度公園で顔を合わせるイベントは好評である。一方、登録者を通じて公園の魅力発信やファンが増えているのか等についての分析・検証が課題である。						
合計事業数 49 事業 (54) 事業		総入場者数	84,106 (77,848)			

7 自主事業の実績

(1) フィールドアスレチック事業・グラウンド・ゴルフ事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者数等 人			備考
フィールドアスレチック事業	通年 会場:フィールドアスレチック場 対象:一般	大人 700 小人 350 幼児 250 共通利用 ファミリー割引	40,275 (43,117)			入場者等 見込数 40,167
[事業成果] 自然のなかで体を動かし、家族や仲間とのふれあいを通じて健康維持増進を図る場を提供することができた。ファミリー割引や各種優待・特典サービスのPRや、県内外の道の駅や宿泊施設にチラシ配布を行うなど広報に努めた。						
グラウンドゴルフ事業	通年 会場:グラウンド・ゴルフ場 対象:一般	大人 700 学生 600 小人 300 高齢者 450 共通利用 ファミリー割引	7,646 (8,865)			入場者等 見込数 5,495
[事業成果] 高齢者の生涯スポーツの促進や家族・友人同士のふれあいおよび憩いの場として幅広い年齢層に利用していただけた。平日は県内外の高齢者や愛好家が、土日は家族連れや行楽グループの利用が多い。						
希望が丘カップ2018 グラウンド・ゴルフ月例大会 ①月例大会 ②年間チャンピオン大会	平成30年4月18日から 平成31年3月20日までの 毎月第3水曜日など グラウンドゴルフ愛好者を対象に気軽に参加できる 月例大会を開催した。	通例大会 500 年間チャンピオン大会 1,500	1,412 (1,895)			入場者等 見込数 1,540
[事業成果] 大会前の芝刈り等整備やコース変更により、新鮮味のある大会となるように努め、参加者から好評を得た。また、従来の運営を見直し、ポイント制による賞品授与を導入した結果、運営の効率化が図れたうえに参加者の評判も良かった。						
合計事業数	3 事業 (3) 事業		入場者総数 49,333 (53,877)			

(2) 付帯事業

事業名	事業概要(開催日・内容)	入場料等 円	入場者 人			備考
物品販売等	通年 (1)物品販売 ①切手類販売 ②薪・炭生産販売 ③物品販売手数料 ④ディスク・ゴルフ ⑤特設グラウンド・ゴルフ ⑥コロパー ⑦運動用具貸出					
合計事業数	1 事業 (1) 事業					